

## 学校施設の活用に向けた市民アンケートの実施

### 1 アンケートの目的

モデル事業2「学校施設の更なる活用」の検討に当たり、プールの利用状況やニーズなどを調査するとともに、学校プールの開放や学校施設の複合化に関する意向を調査する。

### 2 アンケートの種類

#### (1) 一般（無作為抽出）アンケート

無作為抽出した20歳以上の市民3,000人を対象とし、郵送で実施

#### (2) 児童生徒アンケート

プールを主に利用する子ども約7,000人（プールの配置を踏まえ選定した、市立小中学校児童生徒）を対象とし、学校に配付と回収を依頼して実施

### 3 アンケートの内容

大きくは5つに分類されるが、対象者の違いを考慮し、一般アンケートと児童生徒アンケートで一部内容を変えて実施する。

なお、一般アンケートでは、調査票と合わせて、現在のプールの利用状況やコスト、また学校プールの夏休みの使用状況などに係る資料を添付する。

内容	一般	児童生徒
(1) 公共施設マネジメントの取組	○	×
(2) プールの利用状況	○	○
(3) プールに対する意向	○	○
(4) 学校プールの開放に対する意向	○	○
(5) 学校施設の複合化に対する意向	○	×

#### (1) 公共施設マネジメントの取組【一般のみ】

市が直面する様々な課題を示した上で、公共施設マネジメント全体の取組に対する認知度や意向を確認する。

#### (2) 利用状況【一般・児童生徒】

モデル事業の対象である地域プールだけでなく、市民総合プールや生涯学習センター屋内プール、民間プールも含めて、プールの利用状況を確認する。なお、児童生徒アンケートでは、夏季期間の学校プールの利用状況も含める。

(3) プールに対する意向【一般・児童生徒】

プールを利用する理由や利用しない理由などを確認する。

(4) 学校プールの開放に対する意向【一般・児童生徒】

学校プールが開放された場合、利用するかどうか、またその理由を調査し、学校プール開放に係る課題や実現可能性を確認する。

(5) 学校施設の複合化に対する意向【一般のみ】

学校施設の複合化を行う場合、どのような機能が望ましいか、どのようなことに配慮すべきかなど、複合化に対する意向を確認する。

4 今後の予定

実施月	無作為抽出	児童生徒
7月～8月	事前準備	事前準備
9月	配付	配付、回収
10月	回収、集計	集計
11月	結果速報	結果速報
1月	結果報告	結果報告

→ 検討協議会へ報告